

The 22nd International Organ Festival in Japan

ドイツオルガン音楽の権威者 Prof. Ernst Erich Stender が贈る
ドイツの古典から
数多くのパイプを持つオルガンという楽器の特殊性をいかして
オルガンでオーケストラのスコアを演奏・本邦初演



オルガンフェスティバル
組織委員長
児玉麻里

～オルガンでオーケストラのスコアを～

J.S バッハのオルガン曲全曲を独自の解釈で演奏、
オリビエ・メシアンやマックス・レーガーのオルガン作品の演奏に、
批評家は“最高の音楽性を持ったオルガニスト”と評価して、
ドイツレコード批評家賞と、ドイツレコード賞を受賞している。
作曲家ブクステフーデの死後300年を記念して出版された
ブクステフーデのオルガン曲全集CD6枚組は、リユーベックの
聖マリア大聖堂の「死の舞踏オルガン」で演奏されている。



《尺八》
岩橋庸一

《オルガン》
児玉麻里

《箏》
須田俊子

《サウンド・オブ・ピース》

～もう一つのオルガン音楽～

バッハではない、オルガンと日本の伝統楽器(箏・尺八)の「トリオ」。
「オルガンと高千穂神楽とのコラボレーション」という日本から生まれた
新しいオルガン音楽の舞台を創造、
世界に一つしかない舞台芸術として、
世界各国から高い評価を得ているグループが、東京で初演。

〈後援〉外務省／文化庁／ドイツ連邦共和国大使館／公益財団法人日独協会／東京都／NHK／産経新聞社
新宿区／新宿区教育委員会／新宿未来創造財団



新宿文化センター

- ◆JR新宿駅東口 徒歩15分
- ◆西武新宿駅 徒歩14分
- ◆新宿三丁目駅 徒歩6分(E1出口)
- ◆東新宿駅 徒歩7分(A2出口)



甲斐愛光師匠

日本最古の芸術 神楽とオルガンのコラボレーション



《高千穂神楽(重要無形民俗文化財)》

児玉麻里の創作と作曲による作品。
振付け甲斐愛光師匠。